

こんにちは

酒井まさえです

2026年5月24日 No.207 連絡先 日本共産党杉並区議団控室 3312-2111
090-9325-5676 sakaimasae.0507@gmail.com



イラン攻撃による物価高騰・資材不足から 区民の暮らしと営業を守るための緊急要請を行う

5月14日、日本共産党杉並区議団は、岸本区長に、緊急要請を行いました。

建設業・医療機関に深刻な影響

アメリカとイスラエルによる国連憲章と国際法に違反するイラン攻撃により、ホルムズ海峡が事実上封鎖され、エネルギー価格の高騰や物価高騰に留まらず、石油を原料としたナフサ由来の製品の入手が困難な状況が発生し、建設業などの区内事業者、医療機関に深刻な影響が出ています。

建設業者からは「仕事で使用するシンナーが購入できない」「ユニットバスが設置できないため家が完成しない」「資材が手元になく仕事

ができず、収入がない」などの悲痛な声が上がっています。

緊急要請をする区議団

また、医療現場からは、「グローブ類が4月からはほとんど購入できていない」「紙エプロン、紙コップが入手困難」という声が届いています。

何がいほどの程度不足するかまったく見通しが立たず、医療活動継続に大きな不安があるということです。

国は、6月は7割以上の代替調達に目途が立たっていますが、3月末頃からの資材不足で、発注があっても仕事をする事ができない建設事業関係者、医療物品の入荷の目途が立たない医療関係者にとっては、生計や事業の継続に関わる深刻な事態となっています。

暮らしと営業を守る

緊急対策を求める

区議団は、区に実態調査を行うこと、相談窓口の設置、緊急融資制度の創設、給付金の検討、住民税・国民健康保険料支払いの猶予などを求め、

区として国に対しアメリカとイスラエルによるイラン攻撃を直ちにやめるよう要請することなどを求めました。（詳しくは団ホームページをご覧ください）



東京土建杉並支部のみなさんから区議団へ要請



岸本聡子区長 次期 4 年間の政策発表

じつづけられる
杉並。
の実績を、さらに前へ。

暮らし続けられる
杉並。
の未来を、さらに前へ。

暮ら
す

対話の区政
NEXT
安心して
暮らし続けられる



暮
す



4月23日（木）、2期目を目指す岸本区長は、次期4年間の公約となる政策を発表しました。

「杉並NEXT！未来をつくる政策」と題し、『安心して暮らし続けられる杉並。』をテーマに、

- ①子ども・教育 ②暮らし・福祉
- ③安心・安全 ④環境・まちづくり
- ⑤地域経済・文化 ⑥対話の区政

の6つの柱を掲げ、それぞれ具体的な政策を示しています。（左横QRコード参照）



5・10 杉並区長選挙・区議補欠選挙スタート集会

集会では、岸本区政の4年間を振り返り、多くのことが前に進んだことをみんなで再確認することができました。児童館の存続、学校給食費の無償化、補聴器の購入費助成、などなど。

そして、この区政をもっと前に進めるために岸本聡子区長と野垣あきこ前区議予定候補を押し上げましょうとコールしました。

東一会館にて



野垣あきこ予定候補



みんなで頑張ろう！



健康の話 お茶してほっと一息

新緑の季節です。それでも夏日があり、熱中症にも注意が必要となります。

日々忙しい中でも、お茶を飲みほっと一息つくことが大事ですね。お茶の効果を挙げてみます。

お茶には、カテキン類、アミノ酸の一種である「テアニン」、「カフェイン」、ビタミンA・B群・C・Eが含まれています。

疲労やストレスなどにより、体内の活性酸素が過剰に発生すると、細胞やDNAを傷つけ、老化やがんなどの病気の原因にもなると言われています。

カテキン類、ビタミン類は、活性酸素を抑える「抗酸化作用」があります。

また、リラクゼーション効果や、老化・病気の予防の効果も期待できるといわれています。

新茶のおいしい季節ですね。

お茶を飲みながら、おしゃべりもいいですね。

ニュースの感想や、日ごろの区政への思い、要望など、健康に関することなど、ご意見をお寄せください。

お困りのことがありましたら

酒井にご連絡ください。

